

〈令和3年度 仙台市立太白小学校 協働型学校評価改善活動に関する資料〉

家庭・学校・地域が三者協働でめざす児童像

協働型学校評価到達目標

自分の「めあて」や「夢」に向かって頑張る子供

協働型学校評価重点目標

「めあてをもって活動している」児童の割合を80%以上にする。
「将来の夢や目標をもち、それに向かって努力している」児童の割合を80%以上にする。
「生活習慣が確立している」児童の割合を80%以上にする。

三者協働の取組について

よりよい姿の実現（重点目標の達成）

【地域における改善活動】

- 進んで子供たちに声を掛けていく。
- 学校行事やボランティア活動に積極的に参加し、活動を通して、子供たちを励ます。
- ゲストティーチャー等で、これまでの知識や経験を子供たちに伝えていく。

【家庭における改善活動】

- メディアコントロール・読書タイムの推進
- 読書活動の推進
- 家庭学習への励まし
- 親子で一緒に家庭学習や読書に取り組む時間を持つようにする。

【学校における改善活動】

- 「学習のきまり」の徹底
- 「めあて」を意識した教育活動の推進
- 読書活動の推進
- ゲストティーチャー等による「夢」教室の推進
- GIGAスクール構想の校内整備と推進